



PRESS RELEASE

2021年6月16日

アッヴィ、東京オフィスで利用する電気を実質 100%再生可能エネルギー*へ転換

- 東京本社が所在する msb Tamachi（ムスブ田町）で新たに取り入れられた仕組み**を利用し、本日から実質再生可能エネルギーによる電気の利用を開始
- FIT 制度（再生可能エネルギーの固定価格買取制度）を使っていない、再生可能エネルギー発電所から調達している電気を利用

アッヴィ合同会社（本社：東京都港区、社長：ジェームス・フェリシアーノ）は、東京本社で利用する電気を実質 100%再生可能エネルギーへ転換し、6月16日より利用を開始します。実質再生可能エネルギーによる電気は、株式会社エネット（本社：東京都港区）より、取次店の東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社（本社：東京都港区）および賃貸人の三井不動産株式会社、三菱地所株式会社を通じて供給されます。

アッヴィはグループ全体で、二酸化炭素（CO₂）排出量の削減に取り組み、技術的・経済的に実行可能であればいつでも、化石燃料への依存を自主的に減らし、再生可能エネルギーの調達を増やすことに努めています。

東京本社（msb Tamachi 田町ステーションタワーSの14階の一部、15・16階全フロア***）では、FIT 制度を使っていない再生可能エネルギー発電所から調達された電気を利用することにより、実質 100%再生可能エネルギーへと転換されました。これにより、CO₂ 排出量はおよそ 182t 削減****が可能となります。これは、2025年までの新5カ年計画“Road to the Best”で掲げる、戦略的施策の三本柱の一つである「社会とのつながり」のなかで目指す、環境保護や地域社会の課題への取り組みを具現化するものです。

アッヴィはグローバルなヘルスケア企業として、世界中の人々のより健やかな日常を目指し、医薬品の提供、そしてそれにとどまらない取り組みを行い、持続可能な開発目標（SDGs）の目標達成に貢献してまいります。気候変動に関するコミットメントとして、SDG 12（つくる責任、使う責任）および SDG 13（気候変動に具体的な対策を）を推進し、日本においても私たちはその責任の一端を担ってまいります。

*固定価格買取制度によらない再生可能エネルギー電気の環境価値を調達し、株式会社エネットの電源構成（主に LNG 火力発電）の電気に組み合わせて供給する電気を指します。



**JR 田町駅東口エリアにある msb Tamachi 田町ステーションタワーSとNのオフィス入居者が実質再生可能エネルギーによる電力の利用を可能とするものです。

***アッヴィ合同会社の賃借するスペースいずれのフロアーも共用部を除きます。

****CO₂ 排出係数 0.444kg-CO₂/kWh(電気事業連合会 2019 年度速報値)で計算しています。

アッヴィについて

アッヴィのミッションは現在の深刻な健康課題を解決する革新的な医薬品の創製と提供、そして未来に向けて医療上の困難な課題に挑むことです。患者さん一人ひとりの人生を豊かなものにするため次の主要領域に取り組んでいます。免疫疾患、がん、神経疾患、アイケア、ウイルス、ウイメンズヘルス、消化器疾患、さらにアラガンエステティクスポートフォリオの製品・サービスです。アッヴィの詳細については、www.abbvie.com をご覧ください。Twitter アカウント [@abbvie](https://twitter.com/abbvie)、[Facebook](https://www.facebook.com/abbvie)、[LinkedIn](https://www.linkedin.com/company/abbvie) や [Instagram](https://www.instagram.com/abbvie) でも情報を公開しています。

日本においては、1,300 人を超える社員が、医療用医薬品の開発、輸入、製造販売に従事しています。自己免疫疾患、新生児、肝疾患、神経疾患、がんの各領域を中心に、患者さんの人生を豊かにしたいと願い、日々の業務に取り組んでいます。詳しくは、www.abbvie.co.jp をご覧ください。